

人の一生は重き荷を背ふて  
行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年 紀元一千九百六十九年  
 本紙 發一牧金二錢一ヶ月百六十九  
 定價 發一ヶ月金二錢一ヶ月百六十九  
 大祭日及び離るの日は休刊(日刊)  
 廣告 五十錢 雜報一紙一ヶ月一回金  
 料金 五十錢 雜報一紙一ヶ月一回金  
 字一七字一紙一回金七十五錢  
 發行編輯人 高木久馬太  
 印刷人 松久仲一郎  
 京城西番西小門通(電話六六三)  
 發行所 京城新報社

教はこさるまい、御青殿も忍の難き所  
と忍んで堪へて新院へ御方便なさるこ  
そ人臣の道に申すものでござる。最早  
猶豫なさる場合ではござらん、疾く疾  
く某と同行あつて然るべし」と暫々と  
違ふる辨舌に爲談は是非なく爲然ら  
ば拙者の八男爲朝を差出、ことに致す  
べし。某は年老いて御役には立ち申す  
べし。某は年若いので二、三あるは

新らたに、爲繼に近江國伊賀縣美濃國  
杣郷莊此二箇所を賜はり北面に任せ  
らるゝ鶴月云へる名額を下し賜はつた  
清盛の叔父平忠正も新院へ走せ参じ  
南都興福寺の僧徒も新院へ御味方致  
すこととなり、悉く大原に於て合致  
評議が始つた、一段落し所に御能と乗  
り崇徳上皇は塵し給ひ、御殿の近く  
左大臣藤原賴長を座し、二間程退つ

外債を得んと謀りしことなり  
 其當時新聞紙上に黃告を  
 去る陰曆九月十日又々出  
 除跡不明或は悖類の利用  
 所となるやも謀られず内外  
 國人切に欺かれざる様玆に  
 告す

中署琵琶洞五十四統七號  
**金斗晏**  
 告白

今般拙者有名なソングホ  
テルの跡を引き受け改良に改  
良を加へ精々勉強仕候宴會其  
望の準備も整へ居り料理も御  
調進可仕候何卒御遊旁々御高  
來の程切に奉願上候

京城御調

ソングホテル

主人 ジ・ボ エル

▲曙光を認む

世は方に現るの時代となりたるを以て、  
 吾人を形而上に注がざるに至れる今日、學  
 生の思想の稍々向上し來つて堅實なる  
 學風の潮流し來たれるのを見て余輩は  
 少なからぬ快感を得るのである、第一  
 「成功の秘訣、金儲けの徑捷」底の  
 亞米利加流が廢つて眞鍮な研究に移つ  
 たことが讀書の習慣に依つて明に認め得  
 るもの終に此の世にはなきか。

行政機關不備

た、醫學や政府や經濟乃至法律様の學問に志すものが從來あるは盛に夫れゝの鮮彙を便りに淺薄に早や學びてゐつたのだが今は此の薄の辭典が全く買行列か中今更々醫學生の如きは「辭典の世話に預かるものは唯敎養のみ」と公言する程にて彼等が如何に眞摯に研究に従事して居るかを推し量れるは、武士道の盛に歡迎せらるゝ様になれるも此の風潮に茫びれるものと云ふも過ちなかるべし。唯今尙は下界人の範圍に盛に早製の小説の持て囃さるゝは甚だ以て遺憾の至りである。

恐本位

内地に於ける韓國調査など、騒ぎ比較  
的物の解るべき著者の等が韓國大官の  
責を明にして天下に謝せざるべからず  
なき唱へ社會の輿論も翕然として之れ  
に集ざるが如きは甚だ不心得の至りな  
がら唯其れだけのことなるものとされ  
ば這は唯愚劣者の眼識なきものとして  
憫れむに止むべきも其の裏面に於ては  
不埒な野心家が隠れ居ると聞ては看過  
すべからずである、何事によらず獨裁  
馬なるものが出でドサクサまざれに自  
腹を肥やすことは有り勝手の事なると  
は云へ、斯る場合に國家の大事を口に  
してまで甘誑を敷くんと目論むとは實  
以て心得難し、世は終に自慙不位か、

▲輿論呼はり

人官吏は皆かゝる外見を尙り、  
通弊の如く他動機の蠢動せしに異  
ならず元來國家の政務は下級機關の發  
達によりて始めて其目的を達するを得  
し然るに現在の實狀は正さに斯の如  
龍圖蛇尾の觀あるを以て或事件に就  
中央政府より道部に調査を命ずるも  
要領を得る能はず又各道部に對し  
政治上必要なる命令を發するも皆徒  
する事能はず嗟嘆笑せざるを得ず  
滑稽演劇として要するに韓國政務の  
々々として舉げざるは此龍圖蛇尾の旨  
機關に罪を歸せざる可からず而して  
道には教育衛生産業の各主事を置く  
となり居れるも現に是めるものは御  
に數道に過ぎず特に道衙に在りては

第七次五吟集  
秋の蝶  
すみれ會  
むら攢

焦れ氣味や温室のつく秋の蝶  
 草の葉に果敢なき夢や秋の蝶  
 風吹くや葉裏にまわる秋の蝶  
 風なりに吹れて来るや秋の蝶  
 奮る身の行く未知れや秋の蝶  
 道芝の露にいたまし秋のてふ  
 氣の毒花なき原を秋のてふ  
 零落た名士の風情や秋のてふ  
 秋の蝶國に弄るるあはれさよ

月  
 中  
 不美  
 淡  
 萩  
 中  
 玉糸  
 凸  
 秋

の蝶眞綿着せたり風情かな　月

掛秋隱の目もなみち秋のてふ  
夕陽の影のしる気味も秋の蝶  
行く方は風に任せて秋のてふ  
葉隠れて何思ふらん秋のてふ  
貫之が石碑の上や秋のてふ  
香を選ぶ意地は有けり秋の

同 四 同 六 同

● 感 章

● 新 刊 紹 介

● 界新報二の十二 藥石生の園  
將英論 北洲學人の關哲哲其  
の定石分石 解學人の關哲哲  
京小石久次堅明其社十八八  
● 東京經濟雜誌二五五 金融  
況不景氣の原因 關悅同監論  
洲の經濟事情 稻民地園稅問題

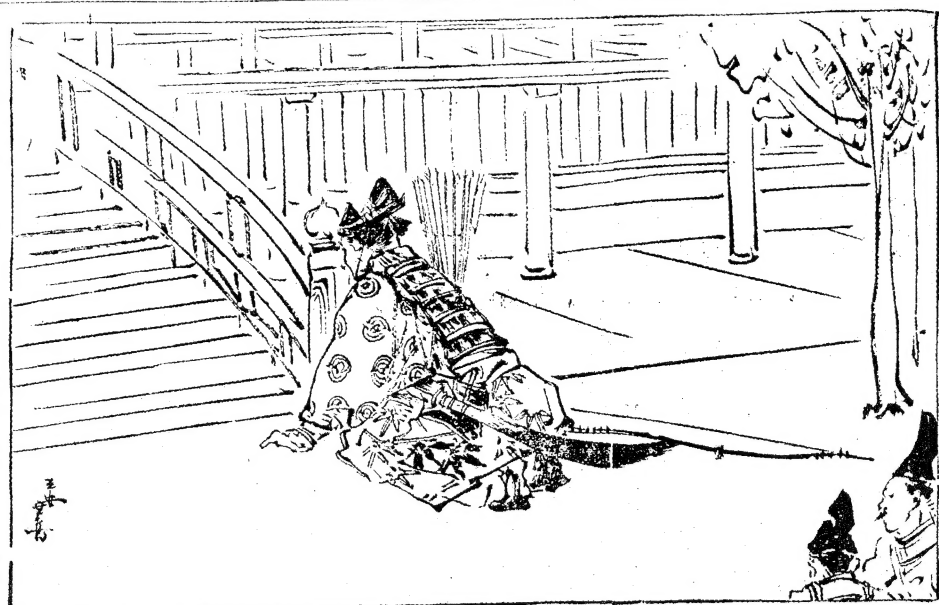
役の預金買収禁止等必讀の文字△  
々橋端左衛門町其社△十二錢

第二十八席 伯山哉 神田松鯉日  
爲義、ワイヤ御資殿、御言々々、細  
かりしなれども、子以内奥へ赴き、父  
院へ参りて、親子兄弟相成ふは、大倫  
て忍びざるどころ、又不思議がこ  
は、昨昨拙者妙な夢を見、候、其夢  
は、某が家に傳ふ所の大切な事  
及許等、飽六つ台せて七つの犯極



第二十八席


ラビ打笑ひ、驚愕、巧なる御尊殿にも似たり辭退を申上げた、けれども教長  
合は是ることを申さるゝものか、夢「イヤ何に夢を、果は實言を承はれ  
は五郎の勞れかと申す、左様なことを爲義殿の参内を促しに參ひたすば  
氣に留められぬ、又親子兄弟相敵對す  
る人倫に於て、忍びざるゝところの御の役目が立ち申さんと、是非「爲義  
殿、千萬の次第なれど時の場合に、御子思を御連れ則對參内あつて然る  
依つては己むを得ぬこと、既に新統とし、是非に」と言はれて爲義  
内裏とは御兄弟でまします、關白と頼  
一筆を得ず、四郎左衛門親實、五郎  
郡守領中、加賀六郎親實、七郎  
成



何は免れおれ罷る。勢に決せしむ。方不利に於て、況しに寡に對し衆を討つは夜戰を第一と致し候。某、鎮西にありて大戰二十、小戰數十、城を拔くこと數十箇所、其の實驗する所に依れば夜戰こそ尤も宜しかるべし、今夜松殿を襲ひ、火を三方に放し其一方に攻むれば一舉して勝を制するは必

召して戰爭の方略を尋ね給ふ、此日爲朝は獅子の丸を繞ひたる直垂に入詣て云ふ鏡に影へし白き唐綾を感ぜたる大荒目の鏡着て、三尺五寸の太刀に熊皮の尻鞆、れ五石の弓の長さあまりてつく折れたるに、卅六指たる黒羽の矢を負ひ、兜を郎党に持たせし、其風情立派なるを觀ふにも趣へなし、勇は禁衛に勝る智は陳平にも超へ月勢は餐由基も大將舎を避くべき有様、天晴勇々しき大將よ、年こそ若けれ如何なる大軍も此者一人だにあらば是は恐るゝに足らずと、人々皆賞讃致します、新院御殿の開きし御覽ありて彼れが五年以前に式成則員が矢を取りたる時より身の丈けも一とかき高くなりて見ゆ、誠に一騎當千の勇士とは斯かる者を云ふならん、御慶長は在はしまし「これ爲朝を呼ぶに良策もあらば問ふて見よ」との仰せ細長は畏て「コレ爲義、爲朝を之れへへ呼べ」爲承知仕り候し、入部御召であるぞ、近う参れ爲朝「ハッ」と答へてツと立上り大床を歩みて御殿の近くへまゐり進みて平伏なす、頼「こりや爲朝、百勝の策あらば申出づべし」と仰せられた、時に、爲朝は「左ればにて候し腹藏の拙者の考を御聞きに達し奉る凡が戰は臨機應機のものにて一様には申上げ兼ねのれど今高松殿(後白河寺)の御所、には臣の兄義朝以下二三千の兵はあるべし、然て此の白河殿(奥徳上皇御所)には兵一千に足らず、

草  
島  
煙  
會  
廣  
江  
商  
電  
六  
七  
五  
番


 株式會社第一銀行  
 韓國總支店  
 電話番號  
 第三三一番 第三三二番 第六二二番  
 但夜間當直用は第三三一番を用ゆ

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗  
京城明治町二丁目(佛國教會前)  
電話三五四番


 好良の食料 給す  
 松尾牧場  
 松尾支店  
 電話四七番  
 松尾牧場  
 松尾支店  
 電話四七番

入 院 隨 意  
 京 城 繁 町 三 丁 目  
 內 兒 科 高 井 醫 院  
 小 兒 病 電 話 (二一六)  
 梅 毒 淋 病  
 院 長 陸 軍 醫 正 高 井 貞 治

---

京 城 明 治 町 一 丁 目  
 佐 佐 木 醫 院  
 醫 學 士 佐 佐 木 四 方 志  
 (電 話 八 二 番)

今般拙者有名なソソクホ  
 テルの跡を引き受け改良に改  
 良を加へ精々勉強仕候宴會其  
 望の準備も整へ居り料理も御  
 調に依りては至極廉價を以て  
 調進可仕候何卒御遊勞々御高  
 來の程切に奉願上候

京 城 貞 洞

ソソクホ  
 シンタクホ  
 テル

主人  
 タクホ  
 エル

中署琵琶洞五十四統七號

金 科 晏 告 白

成くは無賴漢の欺かる所と  
 なり外債を得んぞ謀りしこ  
 る其當時屢新聞紙上に警告  
 し餘陰曆九月十日又々出家  
 跡不明或は怪領の利用を  
 所となるやも謀られず内外  
 國人切に欺かれざる様茲に廣  
 告す









### 福井茂兵衛優 (十三)

▲當時義勇隊に加入する

義勇隊の第一隊は、田村成義の仕打で、新義勇隊に加入し、相馬事件に参戦した。福井茂兵衛は、この第一隊に加入し、相馬事件に参戦した。福井茂兵衛は、この第一隊に加入し、相馬事件に参戦した。

### 露佛清韓の關係 阿片窟の大棒事

▲預金金庫の紛失

露佛清韓の關係、阿片窟の大棒事。預金金庫の紛失。露佛清韓の關係、阿片窟の大棒事。預金金庫の紛失。

### 官馬連和氏に清國巡査四人を 附し現地に急行せしむるが馬氏は韓

附し現地に急行せしむるが馬氏は韓

### 張茂林方に踏み込みたるに 密偵の報告に違はず車坐をして吸煙

密偵の報告に違はず車坐をして吸煙

### 宿屋に別室に同居し居る露國 人ナガレトシニテハハナナ

宿屋に別室に同居し居る露國

### 前記の如く火事もありと取る たに安心の胸で下して自室に

前記の如く火事もありと取る

### 二千餘圓入りの物見當り 十圓を出し主の命を救ふ

二千餘圓入りの物見當り

二千餘圓入りの物見當り。十圓を出し主の命を救ふ。

### 清國巡査の一行が自分等が 月外へ飛出せし跡にて清國人の都屋

清國巡査の一行が自分等が

### 談判中なりと云ふ然るに 如何に狼狽したるに清國巡査が阿片

談判中なりと云ふ然るに

### 觀世流の素談大會 當地の流俗曲好家は十一月十

觀世流の素談大會

### 貧乏の出来心 大坂生れ富

貧乏の出来心

### 金を拾て知れぬ 仁川宮司

金を拾て知れぬ

### 油斷出來ぬ韓人 仁川月尾島

油斷出來ぬ韓人

### 新新聞社の人々 を此の頃には新聞社の新聞

新新聞社の人々

### 伊藤公爵家寫眞係小川一眞撮影 故伊藤公爵葬儀係認可

伊藤公爵家寫眞係小川一眞撮影

### 伊藤公國葬寫眞帖 定價全一冊金壹圓五十錢也

伊藤公國葬寫眞帖

伊藤公國葬寫眞帖。定價全一冊金壹圓五十錢也。

### 子の方く△△△ 治金嶺山の業には 吉外平不登録退防せし△△△

子の方く△△△

### 窃盗犯人の處刑 情事を身

窃盗犯人の處刑

### 新新聞社の健康診断 去九月新新聞社

新新聞社の健康診断

### 中野の健康診断 門司市生れ工

中野の健康診断

### 五七人立つて居る閑人か夫れとも 讀家ならんか疑はれぬ

五七人立つて居る閑人か夫れとも

### 持合春日の主人公十一日の朝早く 三丁目通から人力車を飛ばして自宅

持合春日の主人公十一日の朝早く

### 角川自轉車大賣會 前川自轉車店

角川自轉車大賣會

### 大營養新藥 人體の肥料

大營養新藥

### 人體の肥料 牛乳の數倍

人體の肥料

人體の肥料。牛乳の數倍。

### 不抱多少御 洋金口賣

不抱多少御

### 直輸入商 小賣

直輸入商

### 日希商會 主任ノニヤス

日希商會

### 貞島水堂 電話一四一

貞島水堂

### 伊藤公爵家寫眞係小川一眞撮影 故伊藤公爵葬儀係認可

伊藤公爵家寫眞係小川一眞撮影

### 伊藤公國葬寫眞帖 定價全一冊金壹圓五十錢也

伊藤公國葬寫眞帖

### 蓋伊藤家累代の記念寫眞を命ぜられたる ものなる公の如く一家私に非國民の以て

蓋伊藤家累代の記念寫眞を命ぜられたる

### 記念の速一本を具へ故偉人を偲ぶべけんや 發行所 東京新橋小川寫眞製判所

記念の速一本を具へ故偉人を偲ぶべけんや

### 韓國特約大販賣 前島商店 追而本館は故偉人を偲はれて非常に出張者多し来る二十

韓國特約大販賣

韓國特約大販賣。追而本館は故偉人を偲はれて非常に出張者多し来る二十。

### 齒科治療 中村安子

齒科治療

### 新荷着廣告 トルコ煙草

新荷着廣告

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

葉卷煙草。各種。

### 齒科治療 中村安子

齒科治療

### 新荷着廣告 トルコ煙草

新荷着廣告

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

葉卷煙草。各種。

### 齒科治療 中村安子

齒科治療

### 新荷着廣告 トルコ煙草

新荷着廣告

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

### 葉卷煙草 各種

葉卷煙草

葉卷煙草。各種。

無害ノ煙草 EDP金口莖 衛生を重んぜらるる好貨諸君は特に御愛顧を蒙る次下度奉願



-452-